

平成21年3月期 第1四半期決算短信(非連結)

平成20年8月1日

上場会社名 株式会社 タクミナ
 コード番号 6322 URL <http://www.tacmina.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 山田 信彦
 問合せ先責任者 (役職名) 経理部長 (氏名) 吉田 裕
 四半期報告書提出予定日 平成20年8月12日

上場取引所 大

TEL 06-6271-3971

(百万円未満切捨て)

1. 平成21年3月期第1四半期の業績(平成20年4月1日～平成20年6月30日)

(1) 経営成績(累計)

(%表示は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
21年3月期第1四半期	1,734	—	46	—	57	—	30	—
20年3月期第1四半期	1,586	△1.6	51	285.7	51	214.4	29	372.0

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
21年3月期第1四半期	4.98	—
20年3月期第1四半期	4.71	—

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
21年3月期第1四半期	7,297	3,542	48.5	572.00
20年3月期	7,246	3,603	49.7	581.92

(参考) 自己資本 21年3月期第1四半期 3,542百万円 20年3月期 3,603百万円

2. 配当の状況

(基準日)	1株当たり配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	年間
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
20年3月期	—	0.00	—	15.00	15.00
21年3月期	—	—	—	—	—
21年3月期(予想)	—	0.00	—	15.00	15.00

(注) 配当予想の当四半期における修正の有無 無

3. 平成21年3月期の業績予想(平成20年4月1日～平成21年3月31日)

(%表示は通期は対前期、第2四半期累計期間は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期累計期間	3,500	1.3	200	△7.8	200	△11.9	115	△17.9	18.57
通期	7,300	1.3	555	3.4	550	0.7	320	4.2	51.68

(注) 業績予想数値の当四半期における修正の有無 無

4. その他

(1) 簡便な会計処理及び四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 有

(注) 詳細は、3ページ【定性的情報・財務諸表等】 4. その他をご覧ください。

(2) 四半期財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更(四半期財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更)に記載されるもの

① 会計基準等の改正に伴う変更 有

② ①以外の変更 無

(注) 詳細は、3ページ【定性的情報・財務諸表等】 4. その他をご覧ください。

(3) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む) 21年3月期第1四半期 6,440,450株 20年3月期 6,440,450株

② 期末自己株式数 21年3月期第1四半期 247,983株 20年3月期 247,930株

③ 期中平均株式数(四半期累計期間) 21年3月期第1四半期 6,192,484株 20年3月期第1四半期 6,174,707株

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

上記に記載した業績予想につきましては、本資料の発表日において入手可能な情報に基づき判断したものであり、実際の業績は今後の様々な要因によって予想数値と異なる可能性があります。

なお、上記予想に関する事項は添付資料の3ページを参照してください。

【定性的情報・財務諸表等】

1. 経営成績に関する定性的情報

当第1四半期のわが国経済は、米国のサブプライム問題による株価の下落、原油を始めとした素材価格の高騰、急激な円高の進行などから先行き不透明感が高まり、これまで好調を維持してきた海外経済も減速がみられ、輸出頼みの生産拡大に影を落とす展開となりました。

このような状況のもと、当社を取り巻く受注環境は、引き続きプラント・環境装置メーカー向けが後退しましたが、ケミカル分野や食品分野では、新規ユーザーの開拓によりその落ち込みを埋めることが出来ました。

製品別では、中小型汎用ポンプの減少により定量ポンプ部門の売上が減少する一方、スムーズフローを中心とした装置類、流体機器、滅菌装置が売上を伸ばしました。

また、当第1四半期は、今後タクミナが新市場開拓の中核に据える三品産業(食品、医薬品、化粧品)向け展示会として「FOOMA JAPAN(国際食品工業展)」や「インターフェックスジャパン(医薬品・化粧品・洗剤研究開発・製造技術国際展)」にスムーズフロー他を出展し、注目を集めました。

以上の結果、当第1四半期の売上高は17億34百万円(前年同期比9.3%増)と増収となりました。利益面におきましては、営業利益46百万円(同8.6%減)、経常利益57百万円(同12.4%増)、四半期純利益30百万円(同5.9%増)と増益を遂げました。

品目別販売状況は次のとおりであります。

【品目別販売実績】

部 門	期 別		前第1四半期累計期間 (自 平成19年4月1日 至 平成19年6月30日)		当第1四半期累計期間 (自 平成20年4月1日 至 平成20年6月30日)		増 減	
	金 額	構成比	金 額	構成比	金 額	増減率		
定 量 ポ ン プ 部 門	778	49.0	755	43.6	△ 22	△ 2.9		
ケミカル移送ポンプ部門	185	11.7	203	11.8	18	9.7		
計測機器・装置部門	326	20.6	344	19.8	17	5.4		
流 体 機 器 部 門	110	7.0	219	12.6	108	98.5		
ケミカルタンク部門	107	6.8	114	6.6	6	5.8		
そ の 他	77	4.9	96	5.6	19	25.5		
合 計	1,586	100.0	1,734	100.0	148	9.3		

2. 財政状態に関する定性的情報

(財政状態の変動状況)

当第1四半期末の総資産は、前事業年度末に比べて50百万円増加し、72億97百万円となりました。流動資産は1百万円減少し、46億6百万円となりました。主な増減内訳は、現金及び預金の減少57百万円、受取手形及び売掛金の減少10百万円、棚卸資産の増加87百万円等であります。固定資産は52百万円増加し、26億90百万円となりました。主な増減内訳は、差入保証金の増加44百万円等であります。

負債につきましては、前事業年度末に比べて1億11百万円増加し、37億55百万円になりました。流動負債は1億円増加し、26億96百万円となりました。主な増減内訳は、短期借入金金の増加1億99百万円、未払法人税等の減少1億10百万円、賞与引当金の減少86百万円等であります。固定負債は11百万円増加し、10億58百万円となりました。

また、純資産は、前事業年度末に比べて61百万円減少し、35億42百万円となりました。主な増減内訳は、四半期純利益30百万円の計上による剰余金の増加と配当金の支払による剰余金の減少92百万円等あります。以上の結果、自己資本比率は1.2%低下し48.5%となりました。

(キャッシュ・フローの状況)

当第1四半期末における現金及び現金同等物は、前事業年度末に比べて60百万円減少し、5億27百万円となりました。

各キャッシュ・フローの状況は次のとおりであります。

営業活動によるキャッシュ・フローは、1億44百万円の支出となりました。これは主に、税引前四半期純利益55百万円、減価償却費46百万円による資金の増加と棚卸資産の増加87百万円、賞与引当金の減少86百万円による資金の減少及び法人税等の納付額1億30百万円の支出等によるものであります。

投資活動によるキャッシュ・フローは、48百万円の支出となりました。これは主に、有形固定資産の取得22百万円及び投資有価証券の運用増13百万円による支出等によるものであります。

財務活動によるキャッシュ・フローは、1億29百万円の収入となりました。これは主に、短期借入金の増加1億99百万円の収入と配当金の支払69百万円による支出等によるものであります。

3. 業績予想に関する定性的情報

平成21年3月期につきましては、米国経済の減速による世界経済に与える影響が懸念されていることに加え、原油や素材価格の高騰の影響が企業収益を圧迫し、景気の先行き不透明感は強まるものと予想されます。

こういったなか、当社を取り巻く環境は、水処理・環境分野では汎用定量ポンプの受注回復には未だ時間がかかるものと予想されますが、受注が期待できるケミカル分野や食品分野向けに、スムーズフローポンプ及びシステムを中心にユーザーダイレクト営業を展開し、受注の獲得に注力しております。

業績は計画どおり推移しており、通期の業績につきましては、平成20年5月13日に公表いたしました業績予想に変更はありません。

4. その他

(1) 簡便な会計処理及び四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

棚卸資産の評価方法…… 実地棚卸を省略し前事業年度末に係る棚卸高を基礎として合理的な方法により算出しております。

税金費用の計算…… 税引前四半期純利益に年度の見積実効税率を乗じる方法により計算しております。なお、法人税等調整額は、法人税等に含めて表示しております。

(2) 四半期財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

① 会計基準等の改正に伴う変更

当事業年度より「四半期財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第12号)及び「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第14号)を適用しております。また、「四半期財務諸表規則」に従い四半期財務諸表を作成しております。

5. 四半期財務諸表

(1) 四半期貸借対照表

	当第1四半期 会計期間末 (平成20年6月30日)	(単位：千円) 前事業年度末に係る 要約貸借対照表 (平成20年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	617,099	674,167
受取手形及び売掛金	3,169,737	3,180,010
商品及び製品	77,155	68,056
仕掛品	6,652	6,652
原材料及び貯蔵品	616,240	537,778
その他	123,243	145,322
貸倒引当金	△ 3,298	△ 3,321
流動資産合計	4,606,831	4,608,667
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	539,443	547,355
機械及び装置(純額)	98,041	102,073
土地	481,427	481,427
その他(純額)	160,902	153,282
有形固定資産合計	1,279,814	1,284,138
無形固定資産	51,357	58,388
投資その他の資産		
投資有価証券	605,507	586,584
関係会社株式	3,000	3,000
その他	753,323	708,739
貸倒引当金	△ 2,670	△ 2,642
投資その他の資産合計	1,359,161	1,295,681
固定資産合計	2,690,332	2,638,209
資産合計	7,297,164	7,246,876

	(単位：千円)	
	当第1四半期 会計期間末 (平成20年6月30日)	前事業年度末に係る 要約貸借対照表 (平成20年3月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,614,031	1,571,880
短期借入金	673,000	473,500
未払法人税等	27,121	137,145
賞与引当金	94,980	181,800
その他	287,185	231,817
流動負債合計	2,696,318	2,596,142
固定負債		
長期借入金	130,000	130,000
再評価に係る繰延税金負債	43,024	43,024
退職給付引当金	693,352	684,181
役員退職慰労引当金	192,361	189,992
固定負債合計	1,058,737	1,047,197
負債合計	3,755,056	3,643,340
純資産の部		
株主資本		
資本金	892,998	892,998
資本剰余金	731,659	731,659
利益剰余金	1,952,296	2,014,363
自己株式	△123,809	△123,788
株主資本合計	3,453,144	3,515,232
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	84,239	82,827
繰延ヘッジ損益	—	751
土地再評価差額金	4,724	4,724
評価・換算差額合計	88,963	88,302
純資産合計	3,542,107	3,603,535
負債純資産合計	7,297,164	7,246,876

(注) 記載金額は、千円未満を切り捨てて表示しております。

(2) 四半期損益計算書

(第1四半期累計期間)

(単位：千円)

	当第1四半期累計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年6月30日)
売上高	1,734,595
売上原価	1,098,226
売上総利益	636,368
販売費及び一般管理費	589,648
営業利益	46,720
営業外収益	
受取利息	975
受取配当金	4,297
投資有価証券売却益	2,677
為替差益	6,983
その他	793
営業外収益合計	15,727
営業外費用	
支払利息	2,677
売上割引	1,198
その他	637
営業外費用合計	4,514
経常利益	57,933
特別損失	
固定資産除売却損	2,581
特別損失合計	2,581
税引前四半期純利益	55,352
法人税等	24,531
四半期純利益	30,820

(注) 記載金額は、千円未満を切り捨てて表示しております。

(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	当第1四半期累計期間 (自 平成20年4月1日 至 平成20年6月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー	
税引前四半期純利益	55,352
減価償却費	46,183
退職給付引当金の増加額	9,171
役員退職慰労引当金の増加額	2,368
貸倒引当金の増加額	4
賞与引当金の減少額	△ 86,820
受取利息及び配当金	△ 5,272
支払利息	2,677
為替差益	△ 2,641
投資有価証券売却益	△ 2,677
固定資産除売却損	2,581
売上債権の減少額	10,246
たな卸資産の増加額	△ 87,561
仕入債務の増加額	42,151
未払消費税等の増加額	5,700
その他資産の増加額	△ 25,240
その他負債の増加額	16,981
小計	△ 16,795
利息及び配当金の受取額	5,243
利息の支払額	△ 2,200
法人税等の納付額	△ 130,856
営業活動によるキャッシュ・フロー	△ 144,608

(単位：千円)	
当第1四半期累計期間 (自 平成20年4月1日 至 平成20年6月30日)	
投資活動によるキャッシュ・フロー	
定期預金の預入による支出	△ 73,000
定期預金の払戻による収入	70,000
有形固定資産の取得による支出	△ 22,268
有形固定資産の除却による支出	△ 2,150
無形固定資産の取得による支出	△ 5,565
投資有価証券の取得による支出	△ 50,295
投資有価証券の売却による収入	36,415
出資金の回収による収入	50
貸付による支出	△ 2,000
貸付金の回収による収入	737
投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 48,075
財務活動によるキャッシュ・フロー	
短期借入れによる収入	350,000
短期借入金の返済による支出	△ 150,500
自己株式の取得による支出	△ 21
配当金の支払額	△ 69,504
財務活動によるキャッシュ・フロー	129,974
現金及び現金同等物に係る換算差額	2,641
現金及び現金同等物の減少額	△ 60,067
現金及び現金同等物の期首残高	587,867
現金及び現金同等物の四半期末残高	527,799

(注) 記載金額は、千円未満を切り捨てて表示しております。

当事業年度より「四半期財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第12号)及び「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第14号)を適用しております。また、「四半期財務諸表規則」に従い四半期財務諸表を作成しております。

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

「参考資料」

前第1四半期に係る財務諸表等

(1) (要約)四半期損益計算書

(単位:千円)

科 目	期 別	前第1四半期 〔平成20年3月期〕 第1四半期
		金 額
I. 売上高		1,586,387
II. 売上原価		970,768
売上総利益		615,618
III. 販売費及び一般管理費		564,501
営業利益		51,116
IV. 営業外収益		5,735
V. 営業外費用		5,307
経常利益		51,544
VI. 特別利益		891
VII. 特別損失		1,912
税引前四半期純利益		50,523
税金費用		21,429
四半期純利益		29,093

(注) 記載金額は、千円未満を切り捨てて表示しております。

(2) 四半期キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

科 目	期 別	前第1四半期 〔平成20年3月期〕 第1四半期
		金 額
I 営業活動によるキャッシュ・フロー		
税引前四半期純利益		50,523
減価償却費		41,709
退職給付引当金の増加額		11,446
役員退職慰労引当金の増加額		2,368
貸倒引当金の減少額		△ 997
賞与引当金の減少額		△ 84,335
役員賞与引当金の減少額		△ 20,000
受取利息及び受取配当金		△ 4,769
支払利息		3,308
固定資産除・売却損		1,912
売上債権の減少額		156,342
たな卸資産の増加額		△ 114,036
仕入債務の増加額		28,559
未払消費税の減少額		△ 24,304
その他資産の増加額		△ 4,019
その他負債の増加額		15,697
その他		1,545
小 計		60,949
利息及び配当金の受取額		4,769
利息の支払額		△ 3,308
法人税等の納付額		△ 76,710
営業活動によるキャッシュ・フロー		△ 14,300
II 投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出		△ 3,000
定期預金の払戻による収入		24,000
有形固定資産の取得による支出		△ 17,730
投資有価証券の取得による支出		△ 294
投資有価証券の売却による収入		1
貸付金の回収による収入		749
投資活動によるキャッシュ・フロー		3,726
III 財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入による収入		300,000
短期借入金の返済による支出		△ 154,000
自己株式の売却による収入		10,400
配当金の支払額		△ 73,473
財務活動によるキャッシュ・フロー		82,926
IV 現金及び現金同等物に係る換算差額		—
V 現金及び現金同等物の増加額		72,352
VI 現金及び現金同等物の期首残高		488,017
VII 現金及び現金同等物の期末残高		560,369

(注) 記載金額は、千円未満を切り捨てて表示しております。